



愛知県がんセンター

がんセンター

NEWS

Aichi Cancer Center
NEWS

2025年

10月

vol.94

発行 愛知県がんセンター Tel. 052-762-6111(代)

今号のニュース

放射線治療部の新治療機「OXRAY」の紹介 (2ページ)

がんの疑いのある方への二次検査のご案内(2ページ)

高校生向け基礎実験体験講座の開催報告(3ページ)

高校生一日看護体験を行いました(3ページ)

新任医師のご紹介(3ページ)

病院トピックス

医療安全管理部長 室 圭 医療安全管理室 専門員 山口 真由美

医療安全推進のための取り組み(4ページ)

研究所トピックス

バイオバンク部門長 松尾 恵太郎

バイオバンクを活用したがん研究(5ページ)



【栄養管理部おすすめメニュー】

鮭ときのこのとろろ蒸し(4ページ)

【イベント・講座インフォメーション】

愛知県がんセンター公開講座年間スケジュール(7ページ)

第23回中部地区がん医療連携学術講演会を開催しました(7ページ)

愛知県がんセンターYouTubeはじめました(7ページ)

【シリーズ:とうろく医探訪】 No.37

イノコシ外科内科リハビリテーション室

院長:佐野 真 先生(6ページ)



愛知県

放射線治療部の新治療機 「OXRAY」の紹介

放射線治療部長 古平 毅

放射線治療部では2017年導入の「トゥルービーム」、2019年導入の「ラディザクト」をもちい、現在年間400例程度の強度変調放射線治療を行っています。強度変調放射線治療により従来の3次元放射線治療よりも十分な病変への線量投与と、近傍の正常臓器への照射線量の低減が達成できます。開始当初より前立腺癌・頭頸部癌での治療実績はありますが、近年では肺癌、食道癌、骨盤部腫瘍、乳癌、軟部肉腫(筋肉や皮下組織からでた悪性腫瘍)にも強度変調放射線治療の適応を拡大しています。



2025年から3台の治療機の1つを更新し新式治療機「OXRAY」(左図)を国内7台目で導入し、さらに多くの患者さんに高精度放射線治療を提供できる体制となりました。こ



の装置の特徴は全周性の照射システムのOリングガントリーが寝台に対し回旋することで、患者さんを移動させることなく、効率よく高精度な定位放射線治療(ピンポイント照射)することが可能となります。内蔵のジンバル機能により追尾照射(息止めなく肺病巣に最小の照射範囲で正確に治療ができる)が実施できるため、他の装置より安全な定位照射が可能で、更に照射の精度が向上します。Oリング回旋の特徴を強度変調放射線治療に応用することで、治療精度が従来の強度変調放射線治療より改善し、良好な治療成績が期待できます。これから患者さんのニーズにあった、より高品質の放射線治療を提供し続けたいと考えます。

がんの疑いのある方への二次検査のご案内

愛知県がんセンターでは、人間ドックや健康診断でがんの疑いがあると診断された方に対し、二次検査を実施しております。

ご希望の方は、予約なしでも受け付けておりますので、当センター総合案内までお越しください。

なお、待ち時間が長くなりますこと、また、状況によっては当日に診察を受けられない場合がございますこと、あらかじめご了承くださいませ。

【開業医の先生方へ】

クリニックでの検診の結果、がんの疑いがある患者さんがみえましたら、疑いの段階でもかまいませんので、当院にご紹介ください。

高校生向け基礎実験体験講座の 開催報告

運用部経営戦略課 企画・経営グループ 主事 村上 海太郎

愛知県がんセンターでは、がん研究を身近に感じていただくため、毎年、高校生を対象とした簡単な実験や研究者との対話を通じて研究を体験する「高校生向け基礎実験体験講座」を開催しています。

今年度は、「これであなたもがん研究者～変わる細胞 動く細胞～」と題して8月6日(水)に開催し、愛知県内外から参加した15名の高校生が、がん細胞が手に入れる運動能力を観察し、がんはなぜ全身に広がるのかについて理解を深めました。参加者からは、「専門家の世界を覗けた気分ですごく楽しかった」「進路について視野を広げることができた」などの嬉しい声が寄せられました。今回の講座が将来の進路選択に役立つことを願っています。



高校生一日看護体験を行いました

看護部副部長 中山 衣代

8月6日、愛知県看護協会主催による高校生一日看護体験研修が開催され、38名の高校生が参加しました。病院長・看護部長の説明後、病棟で血圧測定や車いす介



助などを体験し、看護師と患者さんとの関わりを学びました。参加者からは「実際に患者さんと接して看護師の仕事を知ることができ、貴重な体験になった」「看護師に興味を持ち、目指したい気持ちが強くなった」という声が寄せられました。今回の研修は、看護の魅力ややりがいを実感し、将来の進路を考えるきっかけとなる有意義な機会となりました。



新任医師のご紹介 新しい医師が入りました



呼吸器外科部 医長

鈴木 聡一郎 (Soichiro Suzuki)

経歴 名古屋市立大学卒、トヨタ記念病院研修医、虎の門病院

専門分野 呼吸器外科

専門医等資格等 外科専門医、呼吸器外科専門医・評議員、呼吸器専門医・指導医、胸腔鏡安全技術認定医

一言 呼吸器外科チームの一員として、胸腔鏡手術を中心に、患者さんへ負担が少なくかつ根治的な外科治療を心掛けます。



消化器外科部 医長

岸田 貴喜 (Takayoshi Kishida)

経歴 金沢大学卒、小牧市民病院、西尾市民病院、渥美病院、名古屋大学医学部附属病院

専門分野 下部消化管

専門医等資格等 外科専門医、消化器外科専門医、消化器がん外科治療認定医

一言 これまでの経験を活かし、最適な治療を提供できるよう努めてまいります。よろしくお願いたします。



消化器外科部 医長

細井 敬泰 (Takahiro Hosoi)

経歴 藤田医科大学卒、名古屋掖済会病院、日赤愛知医療センター名古屋第一病院、愛知県がんセンター、名古屋大学医学部附属病院、大垣市民病院

専門分野 食道外科

専門医等資格等 外科学会専門医・指導医、消化器外科専門医・指導医、食道科認定医・食道外科専門医、内視鏡外科技術認定医

一言 食道外科医として、最良の医療を提供できるように努めてまいります。



泌尿器科部 医長

平林 裕樹 (Hiroki Hirabayashi)

経歴 山梨大学卒、小牧市民病院、日赤名古屋第一病院

専門分野 泌尿器科

専門医等資格等 泌尿器科専門医、泌尿器科指導医、がん治療認定医、泌尿器腹腔鏡技術認定医、泌尿器ロボット支援手術サーティフィケート、泌尿器ロボット支援手術プロクター

一言 患者さん一人ひとりの思いに寄り添いながら、安心していただける医療を提供できるよう努めてまいります。どうぞよろしくお願いいたします。



病院トピックス

医療安全推進のための取り組み

医療安全管理部長 室 圭 医療安全管理室 専門員 山口 真由美

医療安全とは、医療事故や過誤を防ぎ、安全で信頼できる医療を提供するための取り組みです。医療安全管理部は、医療安全に関する諸問題に対応するため、多職種で構成された院内の組織です。

当院の医療安全管理部では、以下の取り組みを行っています。

- ・提出されたインシデント・アクシデント報告の検討
- ・安全な医療のためのルール作りや見直し
- ・職員への研修
- ・院内の安全点検、周知活動
- ・安全に関する相談対応

インシデントとは、患者さんに、軽微な被害が起きた、あるいは被害はないが誤りや事故につながりかねなかった事例です。アクシデントとは、患者さんに高度で有害な被害が生じた事例です。

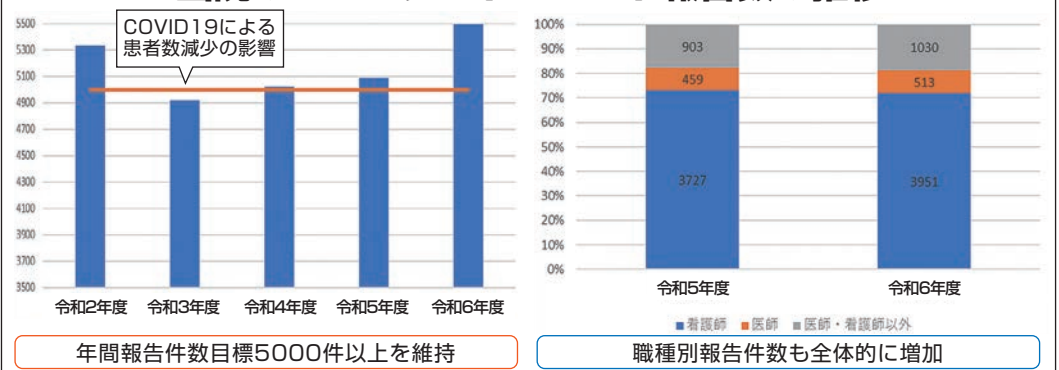
職員からの「インシデント・アクシデント報告」により、原因を分析し、再発防止や安全対策に役立てています。この報告は「責任追及のため」ではなく「患者さんの安全を守るため」に欠かせない大切な仕組みです。

重要な点は、起きた事象を個人や単一部門のみの責任とせず、病院全体の課題として組織横断的に改善・介入をすることです。積極的な報告ができる関係性や風土を重要視しています。ここ数年でインシデント・アクシデント報告件数は増加しており、職員の医療安全への意識が向上していると考えています。

また医療安全は医療者だけではなく、患者さんやご家族の協力が不可欠です。患者確認のための氏名・生年月日の確認、転倒防止のための黄色ファイルプロジェクトなど、さまざまな取り組みを行っておりますのでご協力をお願いします。



当院のインシデントレポート報告数の推移



栄養管理部おすすめメニュー

調理師：原 邦彦 管理栄養士：嘉津山 瑞恵

「鮭ときのこのこのとろろ蒸し」

材料(2人前)

- ★生鮭 2切れ
- ★カットしめじ 1パック
- ★しいたけ 1パック
- ★長芋 約20cm分
- ★きざみねぎ 少々
- ★塩 2つまみ
- ～調味料A～
- ★しょうゆ 大さじ2
- ★みりん 大さじ2
- ★酒 大さじ2
- ★和風だしの素 小さじ2

下準備

- ・生鮭は両面に塩をふる。
- ・しいたけは食べやすい大きさにさく。
- ・長芋はすりおろしておく。

作り方

- ①フライパンに調味料Aと水100mlを入れ沸騰させる。
- ②しめじ、しいたけを入れる。その上にキッチンペーパーで水気を切った生鮭をのせ、フタをして、中火で3分加熱する。
- ③フタをあけ、鮭の上に長芋・きざみねぎをのせ、弱火で3分加熱して出来上がり。

きのこは年中スーパーで手に入りますが、旬は9～11月で、天然物がおいしい季節です。洗う必要はありません。また、食物繊維の他に、煮汁に溶け出すビタミンB群やカリウムも多く含まれますので、スープや炊き込みご飯、あんかけ等、煮汁ごとおいしく食べられる料理がおすすめです。





バイオバンクを活用したがん研究

バイオバンク部門長 松尾 恵太郎

バイオバンクとは、患者さんからご提供いただいた血液や様々な情報を、安全に保管・管理し、将来の研究に役立てる仕組みです。愛知県がんセンターでは、2017年に「キャンサーバイオバンク愛知」を設立し、現在までに25,000名を超える患者さんにご協力いただいています。2022年からは、このバイオバンクを活用したがん研究が本格的に進められています。

バイオバンクに集められた血液や情報は、がん研究に取り組む研究者に提供され、新しい診断法や治療法を開発、さらには予防法の発見に活用されています。たとえば、同じ種類のがんでも人によって進行の速さや薬の効き方が異なることがあります。バイオバンクに保管している多くの患者さんの血液や情報を分析することにより、新しい診断法や副作用の少ない治療法の開発が進められます。



こうした取り組みは、患者さん一人ひとりに合った「個別化医療（オーダーメイド医療）」の実現につながるものです。ご提供いただいた血液や情報は厳重に管理され、研究の目的以外に使われることはありません。

血液や情報をご提供くださる患者さんのご理解とご協力が、未来の医療の発展を支えています。私たちはご提供いただいた大切な血液や情報を確実に管理し、成果を社会へ還元できるよう努めてまいります。

愛知県がんセンターへの 寄附金についてのお知らせ

愛知県がんセンターでは、医療体制の充実や研究促進のため、寄附金の受け入れをしております。

いただきました寄附金につきましては、がんセンターの医療・研究機器や設備の充実、がん克服に向けた研究推進などに使用いたします。

皆さまのご理解、ご厚志をお寄せいただきますようお願いいたします。

※2024年2月より、クレジットカードによりご寄附いただくことも可能になりました。

寄附・アンケートについてのお問い合わせ先

愛知県がんセンター運用部経営戦略課
企画・経営グループ

〒464-8681 名古屋市千種区鹿子殿1番1号
電話 052-762-6111 (代)
FAX 052-764-2963
メール kihukin@aichi-cc.jp

スマートフォンの方は
▼こちらから▼



アンケートのお願い

がんセンターNEWSの誌面を魅力的なものにするにあたり、皆様の貴重なご意見を参考にしたいという考えから、読者アンケートを実施することになりました。

たいへんお忙しいところ誠に恐縮ではございますが、皆様からのご回答を、心よりお待ちしております。

アンケートの回答はこちらから

※アンケートは5分程度でお答えいただけます。
※アンケートの締め切りは、11月30日です。



PCの方は
こちらから

[https://forms.gle/
AbvFcAoBws3XvEyA9](https://forms.gle/AbvFcAoBws3XvEyA9)



スマートフォン
の方は
こちらから

がんセンター
NEWS
第94号読者
アンケート



イノコシ外科内科リハビリテーション室 院長:佐野 真 先生

私事です、自宅は60年来がんセンターから徒歩2分同じ町内会です。1968年の皇太子殿下(今の上皇様)美智子妃殿下の行啓も沿道で旗を振ったし1975年の火事も野次馬していました。

当院はがんセンターから車で5分ほどの地にあり先代が開業以来56年になります。当初は「猪子石外科」と言い手術室もあり有床でしたが、先代が急逝した年に患者さんの指摘でアスベストが使用されていることが判明、1年間の仮設を経て2007年に現診療所に建て替え(この判断がはたして正しかったのか…自問自答)名称も変わりました。無床でもはや外科医(としては恵まれた学年で鏡視下手術も胆石・ヘルニア・大腸を乳癌も乳房温存術までは経験しました)を名乗るのもおこがましく最後にやった全麻手術から20年、専門医も失効、「なんでもない科」医です。「とりあえず何でもご相談下さい」をモットーに外傷・整形・生活習慣病・認知症・メンタル・コロナ・在宅・介護から爪切りまで底辺医として地域医療に従事しています。

がんセンターは最も近い基幹病院であり2人の父はじめ多くの患者さんが昔も今もそしてこれからもお世話になります。また最近ではコロナ禍で内視鏡検査を止めてしまったこともあり「カルナコネクト」は大変重宝させて頂いています。

これからの医療は限られた資源をいかに有効に活用するかが喫緊の課題です。がんセンターにはこれまで以上に専門性の高い医療に特化専念頂くためにも連携パスや在宅・終末期医療等々我々開業医に役割分担させて頂けるよう最先端医療情報の修得にも日々心がけていきたいと思います。

今後ともよろしくお願いします。



医療機関情報

イノコシ外科内科リハビリテーション室

診療科目 内科・外科・リハビリテーション科

電話 052-771-2611

所在地 〒464-0008
愛知県名古屋市千種区
宮根台1丁目5-4

ホームページ <https://www.chikusa-med.jp/medical/20160217153103157.html>

診療時間	月	火	水	木	金	土	日・祝
9:00~12:00	●	●	●	●	●	●	/
17:00~19:00	●	/	●	●	●	/	/

※火・土曜日は8:00~12:00の午前中のみ診療となります



竹越交差点より下坪方向へ向い
1つめの信号を越え右側

編集
後記

第37回は千種区宮根台にある、イノコシ外科内科リハビリテーション室、佐野真先生です。猪子石線を名東区方面へ走ると、モダンな3階建ての外観が見えてきます。1階は駐車場で、受付のある2階まではエレベータが設置されているため雨の日も安心です。「イノコシ」は「猪子石」という地名であり、その地名はイノシシに似た対の石に由来し、香流川を挟んで北にある猪子石神社に牡石、南の大石神社に牝石が祭られており、子孫繁栄や安産のご利益があるとのこと、そこで先代が外科・産婦人科をされていたというのも、ご提供いただいた写真を見ながら様々な思いを馳せます。これからもよろしくお願いいたします。y.sano



令和7年度 愛知県がんセンター公開講座(オンデマンド配信)

回	配信・申込期間	テーマ	講演者
4	R7.11.7(金)正午～ R7.11.25(火)正午まで	第4回「乳がんの最新情報」 1.乳がん検診 2.手術療法 3.乳房再建術 4.薬物療法 5.予防・遺伝	司会 乳腺科部長 原文堅 1.乳腺科部 片岡愛弓医長 2.乳腺科部 小谷はるる医長 3.形成外科部 奥村誠子部長 4.乳腺科部 原文堅部長 5.乳腺科部 吉村章代医長
5	R8.2.6(金)正午～ R8.2.24(火)正午まで	第5回「患者支援」 1.当院における患者支援について 2.がん相談支援センターについて 3.マンガでわかるがんサバイバル 4.アピアランス支援について 5.AYA世代(思春期・若年成人) がん患者・家族への支援	司会 婦人科部長 鈴木史朗 1.婦人科部 鈴木史朗部長 (AYA世代がん患者支援委員会・委員長) 2.地域医療連携・相談支援センター 野崎由美子室長補佐 3.精神腫瘍科部 小森康永部長 4.看護部 井上さよ子専門員 (アピアランス支援委員会・副委員長) 5.緩和ケアセンター 吉川恵師長 (AYA世代がん患者支援委員会・副委員長)

◇視聴料:無料(ただし、通信料は自己負担願います。)

◇視聴方法:事前申込が必要

※事前に愛知県がんセンターweb公開講座ページにある事前申し込みフォームよりお申し込みください。YouTubeによるオンデマンド配信です。

事前申し込みの方には、視聴するためのURLをメールにてお送りします。都合により予告なく中止、公演内容等の変更をすることがあります。

◇視聴対象者:どなたでも事前申し込みのうえ、視聴できます。なお、視聴するためのインターネット環境が必要です。

第23回中部地区がん医療連携 学術講演会を開催しました

8月2日(土)ホテルメルパルク名古屋において、近隣の医師会、歯科医師会、薬剤師会のご協力のもと、第23回中部地区がん医療連携学術講演会を開催しました。特別講演では、放射線治療部 古平毅部長から「高精度治療機器の進歩による新時代の放射線治療—新規治療装置OXRAYで期待される治療成績の向上—」について、講演いたしました。次回は、2026年2月28日(土)ホテルメルパルク名古屋にて開催予定です。



愛知県がんセンター

YouTube
はじめました



皆さまのチャンネル登録
よろしくお願いいたします

公開講座の問い合わせ先

〒464-8681 名古屋市千種区鹿子殿1番1号
愛知県がんセンター運用部経営戦略課 公開講座係
TEL: 052-762-6111(内線2511・2521)
FAX: 052-764-2963
愛知県がんセンター web ページ(公開講座)
<https://cancer-c.pref.aichi.jp/about/academy/>



医療連携のご案内			寄附のお願い
対応時間	月曜日～金曜日 午前9時00分～午後7時00分 土曜日 午前9時00分～午後1時00分 (祝日、年末年始を除く)		詳細は 二次元コード またはHP 「寄附のお願い」を ご覧ください
電話	052-764-9892 (直通)		
FAX	052-764-9897 (24時間稼働しております。)		
ホームページ	https://cancer-c.pref.aichi.jp/outpatient/community/		

外来診療担当表	
受付時間	午前8時30分から午前11時30分 (都合により診察医の変更あるいは休診の場合があります)
休診日	土、日、祝日、年末年始

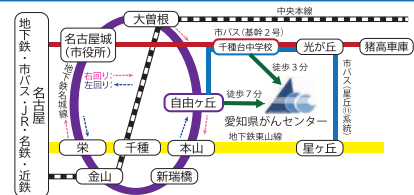
※(SO)はセカンドオピニオン診療だけの場合に表します。 ※(初)＝(初診)・(再)＝(再診)・(非)＝(非常勤)

2025年10月1日

診療科目	月	火	水	木	金
総合初診	稲葉	原(和)	室	堀尾	田近
消化器内科	原(和)(初) 田中(初) 奥野 田近(SO)	原(和)(初) 田近 山田(初) 桑原 松本	原(和)(初) 羽場 田近(初) 孝田 伊藤 松本	丹羽(初)<午後> 水野(初) 奥野 田中(初)<午前> 伊藤(初)<午前> 孝田	田近(初) 水野 山田(初) 桑原 羽場 田中/山田(SO)<午後>
呼吸器内科	渡辺(初) 山口(再) 堀尾(再) 清水(再)	藤原(豊)(初) 渡辺(再) 田宮(初)	清水(初) 藤原(豊)(初) 田宮(再) 山口(初)	山口(初) 堀尾(再) 清水(再) 渡辺(再)	堀尾(初) 山口(再) 藤原(豊)(初) 田宮(再)
循環器科	小川			小川	
血液・細胞療法	川口(初・再) 萩原(再)	鏡味(初・再) <隔週は午後のみ> 山本(一)(初・再) 楠本(初・再) 河合(初) 大野(SO)(非)	川口(再) 齋藤(初・再) 大野(SO)(非)	楠本(初・再) 齋藤(再) 大野(SO)(非)	河合(再) 萩原(初・再)
薬物療法	安藤(初) 室(初)<午後> 舛石(初)	門脇(初) 谷口(初) 本多(初)<午後>	室(初) 本多 成田(初)	谷口(初) 門脇<午後> 舛石(初)	安藤(初) 門脇(初) 谷口(初)<午後> 成田(初)
頭頸部外科	花井(再)(第1・3・5週) <午前> 寺田(再) 別府(初・SO)<午前>	鈴木(秀)(再) 横井(再)(第1・3・5週) <午前> 別府(再)(第2・4週)<午前> 寺田(初・SO)<午前>	花井(初・SO)<午前> 小林(再)	花井(再)(第2・4週) 寺田(再)(第1・3・5週) <午前> 横井(再) 鈴木(秀)(初・SO)<午前>	別府(再) 小林(再)(第1・3・5週) <午前> 鈴木(秀)(再)(第2・4週) <午前> 小林(初・SO)<午後>
形成外科	鈴木(寛)(第1・3・5週) 鍋谷(第2・4週) 奥村	鈴木(寛)(第2・4週) 鍋谷(第1・3・5週) 奥村 大島	藤岡 大島<午前> 鈴木(寛)	鍋谷 奥村 大島	
呼吸器外科	則竹(初・再)	松井(初・再)	坂倉(初・再)	鈴木(聡)(初・再)	瀬戸(初・再)
乳腺科	片岡(再) 小谷(初・SO) 遠藤(再) 原(文)(SO)(第1・2・3・5週)<午後> 服部(再)(第4週)<午後>	吉村(初・SO) 安東(再) 原(文)(再・SO)	小谷(再) 遠藤(初) 秋田(再) 原(文)(SO) <午後>	片岡(初) 小谷(再) 原(文)(初・再) 能澤(再)<午前> 遠藤(再) 安藤(再)<午後>	安東(再) 秋田(初) 吉村(再) 片岡(再)
消化器外科	檜垣 安部 三澤(第2・4週) 木下(敬)(第1・3・5週)	三澤 木下(敬) 奥野(正)	小森康司 伊藤(友) 夏目	伊藤(誠) 大内 安部 浅野	岸田 安部<午後> 稲田<午前> 細井<午前>
整形外科・ サルコマセンター外来	濱田(初) 筑紫(初) 吉田(雅)(初)	筑紫(初)	吉田(雅)(初)		濱田(初) 藤原(那)(初)
脳神経外科	灰本<午後>		大野	灰本	大野
泌尿器科	小島(初) 川瀬 武内 篠田(初)	担当医(初) 鈴木(史)(初) 渡邊 北見(初)	小島 川瀬(初) 北野 植草(初) 北見(初)	担当医(初) 鈴木(史)(第1・3・5週)(初) 篠田(第2・4週)(初) 篠田(第1・3・5週) 植草(初)	北野(初) 平井(初) 武内 渡邊(初)
婦人科					
放射線診断科・ 放射線IVR科	稲葉(初) 村田	長谷川貴章(初)	稲葉(初) 山浦	佐藤(初)	稲葉 加藤(弥)
放射線治療科	古平(初) 立花(再) 小出(再)	古平(再) 立花(初) 小出(再) 橋本(再)	古平(再) 立花(再) 橋本(初) 小出(再)	古平(再) 小出(初) 橋本(再)	立花(初) 小出(初) 橋本(初)
精神腫瘍科	小森康永(予約のみ)	小森康永(予約のみ)	小森康永(予約のみ)	小森康永(予約のみ)	小森康永(予約のみ)
緩和ケア科	下山	下山 長谷川貴昭(非)	下山	下山	下山
ペインクリニック			木村<午後>(非)		
遺伝カウンセリング	井本	井本	井本	井本	井本
がんゲノム外来	衣斐	梅垣	梅垣	梅垣	梅垣

※現在在、当院受診中の患者さんのみ受け付けております。
※再診予約制：診察券をお持ちの方は、診察予約をしてください。052-764-2911 (直通) 午前9時～午後5時 (土・日・祝・年末年始を除く)
※セカンドオピニオン外来は、全科に対応しています。(完全予約制・自由診療)

交通のご案内	★公共交通機関のご案内
	○地下鉄利用 名城線「自由ヶ丘駅」2番出口から徒歩7分
	○市バス利用 基幹2系統・星丘11系統「千種台中学校」下車徒歩3分
	★車でアクセスのご案内
	●一般道路 本山交差点から北へ約7分、平和公園の北西
	●高速道路 東名高速道路「名古屋IC」から西へ約15分 名古屋高速「四谷出口」から北へ約10分



 愛知県がんセンター Aichi Cancer Center 特定機能病院/都道府県がん診療連携拠点病院/がんゲノム医療拠点病院	〒464-8681 名古屋市千種区鹿子殿1番1号 TEL052-762-6111(代) ホームページ: https://cancer-c.pref.aichi.jp 編集: 運用部 経営戦略課 企画・経営グループ	
	第94号 2025年10月発行	
	「がんセンターNEWS」に関するご意見・ご感想はmail: kohonews@aichi-cc.jpまたはfax: 052-764-2963にてお寄せください。 なお、個別の返答は致しかねますので予めご了承ください。	
	がんセンターNEWSは古紙配合再生紙を使用しています。	